

R J S F ト ピ ッ ク ス

【2015年 第2号】
平成27年7月3日 発行

航空灯火定期検査を受検しました

平成27年6月4日および18日に、国土交通省航空局による航空灯火の定期検査を受検しました。この検査は航空法第47条第2項に基づき、空港管理者が適切な管理を行っているか確認するために毎年実施されるものです。正式な検査結果は通知待ちですが、指導事項等もなく無事終了することができました。安全・安心な運航のため、これからも航空灯火施設の適切な維持管理に努めてまいります。

◆地上検査



書類検査状況

航空灯火点灯状況



◆飛行検査



飛行検査機材 (JA005G)



PAPI 仰角確認



PAPI 色光角確認



進入角指示灯 (PAPI) レベル測定



パイロット視点のPAPIの見え方



PAPI 転移層の見え方

- ・航空灯火とは、灯光により航空機の航行を援助するシステムで、色や配列で視覚を通じてパイロットに必要な情報を提供しています。
- ・定期検査では、管理書類や航空灯火の設置状況などを確認する地上検査、航空機を使用してPAPIなど灯火の機能を確認する飛行検査が行われます。
- ・PAPI（通称：パピ）は、着陸しようとする航空機に適正な進入降下角度（3°）を示す航空灯火です。転移層と呼ばれる白色と赤色の境目があり、4個のユニットから構成されます。そのユニットが●●●●に見える時が適正な進入角を意味し、●に見えるユニットが増えると進入角が高いことを、逆に●●●●に見えるユニットが増えると低いことを表します（●●●●：少し高い、●●●●：高すぎる、●●●●：少し低い、●●●●：低すぎる）。
- ・夜に点灯する航空灯火は、青、緑、黄、赤、白など様々な色に彩られてとてもキレイです。